

Windows10 2022 Update (22H2)で DRAFT が応答なしになる

Windows10 2022 Update(22H2)において MYPAC DRAFT 21.0F～18.0F が応答なしになる現象を確認しました。この現象については、Windows10 May 2020 Update(2004)以降の各アップデート(21H2、21H1、20H2、2004)と同様です。

21.0F～18.5Fについては、サービスパックにて対応しております。

(※ 21.0F～18.5F について 2020/9/10 リリース済み)

該当の OS の場合、Microsoft IME の設定を変更していただくことで回避可能です。

現象

編集／消去／重複線消去コマンドで重複線消去を実行した後、キーボードよりキーを押すと(例えば Ctrl キーを押して画面をスクロールするとき)、操作ができなくなる。

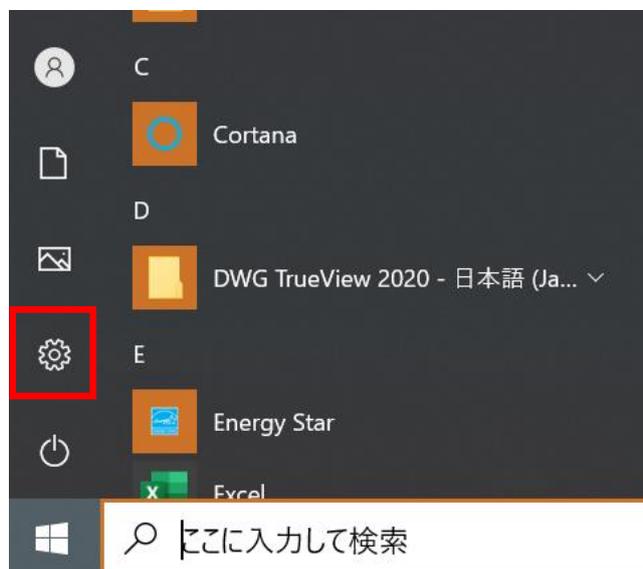
回避方法 (Windows10 22H2, 21H2, 21H1, 20H2, 2004 のいずれも同じ手順です)

21.0F～18.5F については、2020/9/10 以降リリースのサービスパックにて回避可能です。

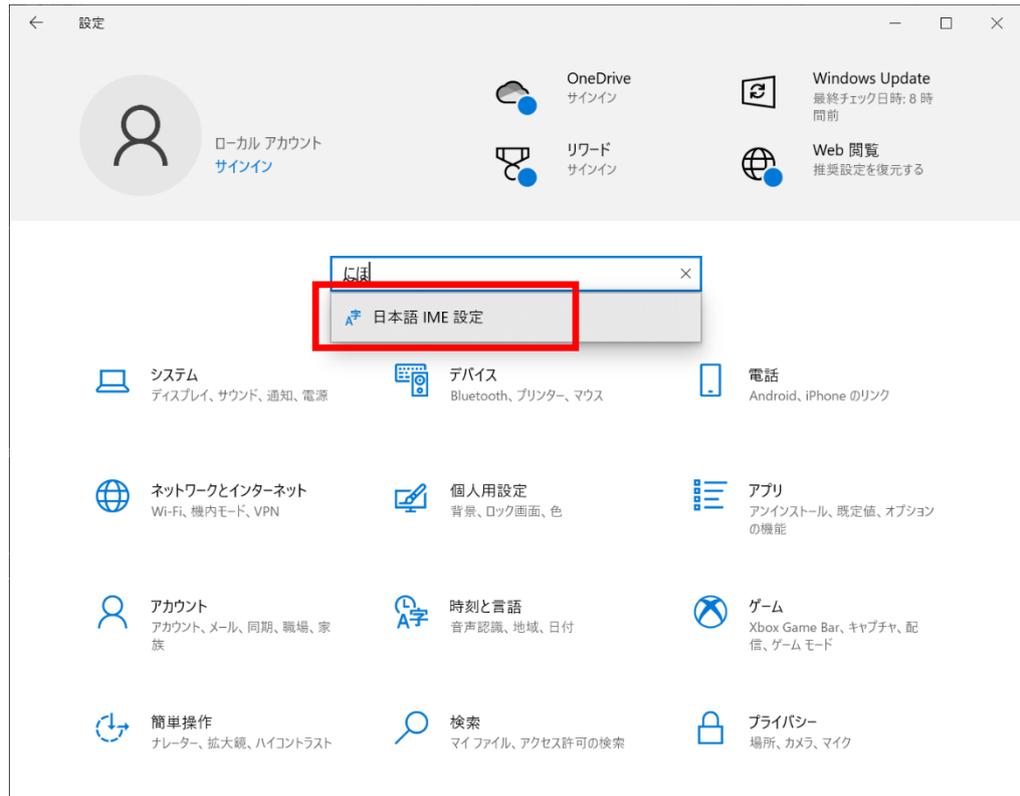
他に以下の方法で Microsoft IME の設定を変更する事で回避可能です。

(※メンテナンスを終了しているバージョンについては、こちらの方法となります)

1. スタートボタンより「設定」を開く



2. 検索欄に「にほんご」と入力し、表示される「日本語 IME 設定」を選択する



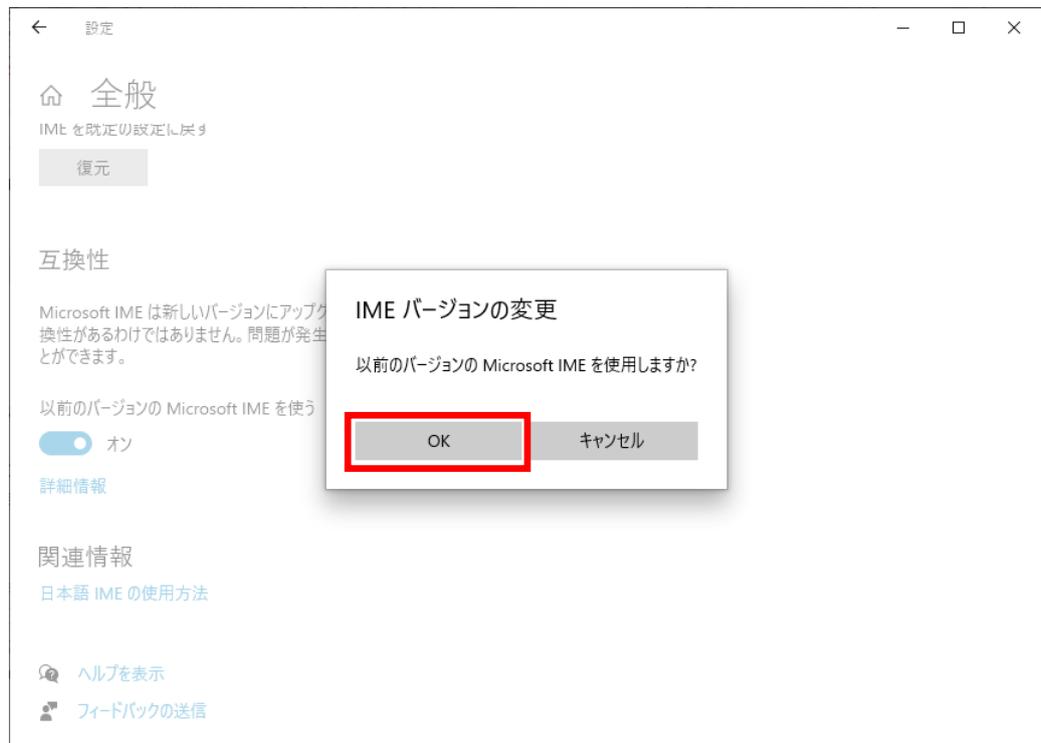
3. 全般を開く



5. 以前のバージョンの Microsoft IME を使う を「オン」にする



切り替えの確認が入りますので、OK をクリックします。



※ 同様の手順で設定を「オフ」にする事ができます。

以上